

**令和5年度
「教育委員会の点検・評価」報告書
(令和4年度事務事業対象)**

**令和5年 9 月
那須町教育委員会**

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下「地教行法」という。)第 26 条により、教育委員会は、毎年、教育委員会の事務の管理・執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとされています。同時に、点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、「那須町教育振興基本計画(総合教育ビジョン)～夢・感動あふれる人づくりを目指して～」に基づき、令和4年度の教育委員会の主要事業、教育委員会の開催状況等について、点検評価委員から点検・評価をいただいた結果を総括的にまとめたものです。

教育委員会では、この点検・評価を次年度への計画等に活かし、夢・感動あふれる人づくりを目指して、一層効果的・効率的な事務の執行に取り組んでまいります。

今後とも、地域、家庭、行政、園・学校が連携・協働しながら保育・教育の質の向上と将来のまちづくりの担い手の育成を図り、持続可能な活力あるまちづくりにつながる教育を一層進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

令和5年9月

那須町教育委員会

目 次

| | |
|-----------------------------|----|
| 那須町が目指す人づくり(ライフステージ別)..... | 1 |
| I 本町の「教育委員会の点検・評価」について..... | 2 |
| II 教育委員会の活動状況について..... | 5 |
| III 教育ビジョンに基づく点検評価対象事務事業 | |
| こども未来課(5事業)..... | 12 |
| 学校教育課(5事業)..... | 13 |
| 生涯学習課(5事業)..... | 14 |
| IV 令和4年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書 | |
| ○こども未来課 | |

| No. | 事業名 | ページ |
|-----|---------------------|-----|
| 1 | 子育て支援センター事業 | 15 |
| 2 | 子ども子育てのための教育保育等給付事業 | 16 |
| 3 | 子どもの遊び場運営事業 | 17 |
| 4 | 保育園運営事業 | 18 |
| 5 | 放課後児童健全育成事業 | 19 |

○学校教育課

| No. | 事業名 | ページ |
|-----|--------------|-----|
| 1 | 学校給食調理業務委託事業 | 20 |
| 2 | 学校給食費支援事業 | 21 |
| 3 | 英会話力向上事業 | 22 |
| 4 | ICT 教育推進事業 | 23 |
| 5 | スクールバス運行事業 | 24 |

○生涯学習課

| No. | 事業名 | ページ |
|-----|----------------------------|-----|
| 1 | 那須スイミングドーム・余笹川ふれあい公園管理運営事業 | 25 |
| 2 | 家庭教育支援推進事業 | 26 |
| 3 | 文化センター自主事業 | 27 |
| 4 | スポーツ振興事業 | 28 |
| 5 | 国民体育大会事業費 | 29 |

【那須町が目指す人づくり(ライフステージ別)】令和4年度～

| | |
|---|--|
| <p>◆ 妊娠期子育てビジョン ◆ 安心して誕生できる子ども ○お腹の子どもを温かく育み、誕生を喜びをもって迎える家庭 ○出産を迎える家庭を温かく見守り支えあう地域 ○安心して妊娠・出産ができるようしっかり支援する町</p> | <p><ステージ0></p> |
| <p>◆ 乳幼児教育・保育(家庭)ビジョン ◆ 家庭や地域の愛情に包まれる子ども ○愛情を受けて自分に自信がもてる子ども ○安心した環境で生活できる子ども ○遊びを通し、健康ですくすくと成長する子ども</p> | <p><ステージ1 -(1)></p> |
| <p>◆ 幼児教育・保育(幼稚園・保育園等)ビジョン ◆ 健やかに成長し、笑顔の絶えない子ども ○夢や希望をもつ子ども ○自分の考えをもつ子ども ○願いや思いを、率直に言える子ども</p> | <p><ステージ1 -(2)></p> |
| <p>◆ 学校教育ビジョン ◆ 夢と志をもち、多様化する社会で活躍できる「自立・自律」した子ども ○自ら考え、判断し、行動できる子ども ○自己肯定感が高く、自信に満ち溢れ、たくましく生きる子ども ○多様性を認め、互いに尊重できる子ども ○探究心や好奇心旺盛で、「見えない学力」の高い子ども ○地域を誇れる子ども</p> | <p><ステージ2></p> |
| <p>◆ 青少年教育ビジョン ◆ 生き生きと輝き、希望を実現する青少年 ○自立した社会性のある青少年 ○社会の一員として、社会に貢献できる青少年 ○日本の伝統・文化を基盤として国際社会をたくましく生きる青少年</p> | <p><ステージ3></p> |
| <p>◆ 生涯学習ビジョン ◆ ○夢に向かうための教育の推進と青少年の健全育成 ○生涯にわたる学習機会の提供とその充実 ○「町民一人1スポーツ」の推進 ○文化芸術活動の促進による創造性豊かな人づくり</p> | <p><生涯ステージ></p> |

コミュニケーション

I 本町の「教育委員会の点検・評価」について

1 目的

教育委員会が立てた基本方針に沿って、具体的な教育行政が執行されているかについて、自らが点検・評価(以下「教育事務点検評価」という。)を行うことにより、効果的な教育行政を一層推進し、町民への説明責任を果たしていくことを目的とします。

2 教育事務点検評価の対象

町教育委員会では、教育基本法第17条第2項に基づき、令和4年度から5年間に取り組む町教育の方向性を広く町民に明確に示すとともに、教育行政を総合的・計画的に推進するため「第2期那須町教育振興基本計画(総合教育ビジョン)～夢・感動あふれる人づくりを目指して～」(以下「教育ビジョン」という。)を策定し、教育行政施策を推進しています。

教育ビジョンでは、今後10年を通じて目指すべき教育の姿に向け、一人一人の人間が、誕生する前の妊娠期から成長していくライフステージに応じた6つのステージ【那須町が目指す人づくり(ライフステージ別)】に分け、各ステージの施策ごとに取り組む事業を掲げています。

町では、近年の学校教育における様々な変化や課題に柔軟に対応するため、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校との連携により情報の共有を図り、子ども一人一人の状況に応じた支援体制を確立させる必要があることから、令和4年度から、子ども子育て施策を担当する「こども未来課」を教育委員会に移管しました。

これに伴い、令和5年度から教育ビジョンに掲げた全ての事業が、教育事務点検評価の対象事業となります。

具体的な対象事業は、町教育委員会が前年度に実施した事務の管理及び執行のうち、教育委員会の主要事業として承認されている事業から、主だった事業としています。

(令和5年度対象事業)

- ◆ステージ0: 妊娠期子育てビジョン
- ◆ステージ1(1): 乳幼児教育・保育(家庭)ビジョン
- ◆ステージ1(2): 幼児教育・保育(幼稚園・保育園等)ビジョン
- ◆ステージ2: 学校教育ビジョン
- ◆ステージ3: 青少年教育ビジョン
- ◆生涯ステージ: 生涯学習ビジョン

3 教育事務点検評価結果の構成

○担当課

事務事業を所管する担当課及び係名を記載しています。

○事業概要

教育委員会において教育委員会事業の主要事業として承認を受けている事業の中から、主だった事業について、令和4年度中の実施状況を記載しています。

○成果及び課題

事務事業に対し、担当課による成果・課題と内部評価を記載しています。

A:達成されている

B:概ね達成されている

C:達成状況は低い(外部評価と共通)

○点検評価委員からの主な意見

点検評価委員からいただいた主な意見と外部評価を記載しています。

○今後の方向性

点検及び評価結果を踏まえ、点検評価委員による今後の方向性を記載しています。

4 教育事務点検評価の方法

①自己評価

前年度に実施した町教育委員会所管事業の取り組み状況について自己評価を行い、成果や課題について明らかにしました。

②点検評価委員会の開催(各担当係長による事業説明)

地教行法に基づき、教育に関し学識経験を有する方で構成する点検評価委員会を開催し、各担当係長から事業の取り組み内容について説明を行いました。

③点検評価委員会の開催(点検評価委員からの意見・提言)

各担当係長による事業説明を踏まえ、事業の取り組み状況や自己評価に対して、意見・提言をいただきました。

5 点検評価委員の設置

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 2 項の規定では点検・評価の実施に当たっては、教育に関し学識経験を有する方の知見の活用を図ることとされています。令和 5 年度点検評価では、次の 3 名の方を外部評価委員として委託し、施策に対する評価や具体的な皆瀬何をいただきました。(任期は 2 年とし、再任を妨げません。)

| 氏名 | 役職 | 任期 |
|-------|---|--|
| 薄葉 保夫 | 元那須町立黒田原小学校長 元栃木県義務教育課学力向上推進室専門員 元栃木県学力向上コーディネーター | 令和 5 年 6 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日 |
| 渡邊 明彦 | 元那須町立田代友愛小学校長 社会教育主事 | |
| 荒井 紀子 | 元那須町職員 家庭教育オピニオンリーダー | |

6 議会への報告

令和 5 年 9 月に議会へ報告し、那須町のホームページで公表します。

II 教育委員会の活動状況について

1 教育委員会制度

教育委員会は、都道府県及び市町村等に置かれる行政委員会であり、教育長と教育委員の構成による合議制の執行機関です。創造的で人間性豊かな人材を育成するため、生涯学習の推進はじめ、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進していく上で、教育委員会制度は重要な役割を担っています。

(教育委員会制度の根拠法律:地方教育行政の組織及び運営に関する法律)

教育委員会制度の意義としては、①地方自治の尊重、②教育行政の政治的中立性と継続性・安定性の確保、③指導行政の重視、④教育行政と一般行政の調和、⑤国・都道府県・市町村の連携、⑥生涯学習など教育行政の一般的な推進、の6つがあります。

教育委員会は、教育委員会の代表者である教育長と4人の非常勤の教育委員をもって組織されており、町長が任命しています。

教育委員は、教育行政や学校運営が教育の専門家だけの判断に偏ることがないように、広く社会の常識や住民のニーズを施策に適切に反映させることができる、一般的な学識、経験が豊かであり、人格が高潔な方を適任者としています。

教育委員と教育長の合議により町の教育基本方針を決定し、教育行政の専門家として教育長が事務局を統括して執行する仕組みとなっています。

(「四訂版 教育委員会必携」引用)

2 那須町教育委員会について

令和5年8月1日現在

| 職名 | 氏名 | 委員任期 |
|----------|-------|---------------------|
| 教育長 | 平久井好一 | 令和2年10月1日～令和5年9月30日 |
| 教育長職務代理者 | 大森源一郎 | 令和3年10月1日～令和7年9月30日 |
| 委員 | 菊地昭一 | 令和4年10月1日～令和8年9月30日 |
| 委員 | 菊地厚子 | 令和元年10月1日～令和5年9月30日 |
| 委員 | 金田裕美子 | 令和5年1月1日～令和6年9月30日 |

○教育長

教育長は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育行政に関して識見を有する者のうちから、地方公共団体の長が、議会の同意を得て任命します。

教育長の任期は3年です。

○教育委員

教育委員は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有する者のうちから、地方公共団体の長が、議会の同意を得て任命します。

委員の任期は任命の日から起算して4年ですが、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間となります。また、委員は再任されることもできます。

地教行法に基づく教育委員会の発足時(昭和31年)の委員の任期が、1年委員1人、2年委員1人、3年委員1人、4年委員2人と定められ、これを後任者が引き継ぐことにより、教育委員は毎年一部ずつ解任される仕組みとなっています。これは、委員の改任により急激に教育委員会の行政方針が変わることを避けるとともに、地方公共団体の長及び議会の議員の任期が4年であることとも関連して、委員の任命を通じて教育行政の安定性、中立性が脅かされることを防ぐためです。(「四訂版 教育委員会必携」引用)

3 教育委員会議等の運営及び開催状況等

那須町教育委員会は、原則として年6回の定例会を開催しています。また、緊急を要する場合などの必要に応じて臨時会も開催しています。

令和4年度の開催状況は、次のとおりです。

| No | 会議名 | 会議名 | 開催年月日 | 出席委員数 |
|----|----------|-----|------------|-------|
| 1 | 第1回教育委員会 | 定例会 | 令和4年4月22日 | 4人 |
| 2 | 第2回教育委員会 | 定例会 | 令和4年7月29日 | 5人 |
| 3 | 第3回教育委員会 | 定例会 | 令和4年10月3日 | 4人 |
| 4 | 第4回教育委員会 | 定例会 | 令和4年11月16日 | 4人 |
| 5 | 第5回教育委員会 | 定例会 | 令和5年2月17日 | 5人 |
| 6 | 第6回教育委員会 | 定例会 | 令和5年3月17日 | 5人 |

4 教育委員会議の内容

教育委員会は原則公開ですが、人事に関する議案を審議する場合等では、出席委員の3分の2以上の多数をもって、非公開の会議とする場合があります。

町民が傍聴をしやすいするため、会議の開催日時や場所、協議事項等を告示しています。

○令和4年度教育委員会定例会の審議内容

| 会議名 | 議案番号 | 件名 | |
|--------------|------------------------------|-------------------------|----------------------------|
| 第1回 教育委員会 | 議案第1号 | 令和4年度教育委員会事業について | |
| | 報告事項1 | 各種許可・認定状況について | |
| | 報告事項2 | 令和4年度那須町教育委員会関係行事予定について | |
| | 教育長報告 | | 令和4年度町内小中学校長・教頭・教務主任一覧について |
| | | | 令和4年度那須町教育委員会の具体的な努力点について |
| | | | 教育相談室の仮転移について |
| | | | 年度始め学校訪問について |
| | | | 4 公民館の役職員・活動推進員合同会議について |
| | | | 那須町生涯学習推進計画について |
| | | | 令和4年度会津美里町との野球交流会中止について |
| | | 長唄舞踊「那須与一の段」実施について | |
| | 3 町村対抗スポーツ交流大会(ソフトボール)実施について | | |
| 第2回 教育委員会 | 議案第1号 | 令和5年度使用教科用図書の採択について | |
| | 報告事項1 | 各種許可・認定状況について | |
| | 報告事項2 | 那須町児童生徒就学援助費支給要綱の改正について | |
| | 教育長報告 | | 会津美里町との中学生交流の見直しについて |
| | | | 小・中学生英語宿泊体験研修実施について |
| | | | 3 町村対抗スポーツ交流実施について |
| | | | 長唄舞踊「平家物語 那須与一の段」実施について |
| | | | 那須町ジュニアゴルフ大会ロイヤルカップについて |
| | | | 家庭教育支援講演について |
| | | | いちご一会国体那須町炬火集火式開催について |
| | | | 栃木国体自転車ロードレース大会について |
| | | | 那須町子どものための生活応援用品支給開始について |
| | | | 就学相談の実施について |
| | | | 幼保小中の円滑な接続に向けた連携について |
| | | 合同避難訓練予定について | |

| 会議名 | 議案番号 | 件名 | |
|--------------|-----------------|----------------------------|--|
| 第3回 教育委員会 | 報告事項1 | 教育委員会委員の任命について | |
| | 報告事項2 | 令和4年度「教育委員会の点検・評価」報告書について | |
| | 報告事項3 | 各種許可・認定状況について | |
| | 議案第1号 | 幼児教育の現状と課題について | |
| | 教育長報告 | | 子どもたちの状況調査の結果について |
| | | | 旧教育相談室での地域おこし協力隊の活動について |
| | | | 「コンピュータクラブハウス」視察について |
| | | | 黒田原駅前ナスタルジック映画祭への黒田原小学校6年生の出品について |
| | | | 国体デモンストレーションスポーツエアロビック大会開催について |
| | | | いちご一会栃木国体自転車ロードレース大会開催について |
| | | | 和い輪い学習フォーラム開催について |
| | | | 臨時園長会議開催について |
| | | 高原保育園運動会見学について | |
| 第4回 教育委員会 | 議案第1号 | 令和5年度那須町教育委員会主要事業計画(案)について | |
| | 議案第2号 | 那須町教育委員会委員の辞職について | |
| | 報告事項1 | 各種許可・認定状況について | |
| | 報告事項2 | 那須町立小中学校管理規則の一部改正について | |
| | 報告事項3 | 那須町教育委員会事務決裁規定の一部改正について | |
| | 報告事項4 | 那須町社会教育委員への諮問に対する進捗状況について | |
| | 教育長報告 | | 黒田原駅前ナスタルジック映画祭での黒田原小学校6年生が大活躍したことについて |
| | | | 新型コロナウイルス感染症拡大傾向について |
| | | | 「コンピュータクラブハウス」視察について |
| | | | 町プレゼンフェスティバル実施予定について |
| | | | いちご一会栃木国体自転車ロードレース大会開催について |
| | | | 和い輪い学習フォーラムの開催について |
| | | | 町駅伝競走大会実施について |
| | | 児童虐待防止月間について | |
| | 那須町大好き応援券配布について | | |

| 会議名 | 議案番号 | 件名 | |
|--------------|-----------------------|-------------------------------|--------------------------------|
| 第5回 教育委員会 | 議案第1号 | 令和5年度那須町教育委員会主要事業等予算(案)について | |
| | 議案第2号 | 那須町教育相談室の本移転について | |
| | 議案第3号 | 那須町教育委員会事務決裁規定の一部改正について | |
| | 議案第4号 | 那須町教育委員会事務局組織規則の一部改正について | |
| | 報告事項1 | 各種許可・認定状況について | |
| | 教育長報告 | | 梁和生文部科学副大臣の黒田原小学校視察について |
| | | | 町プレゼンフェスティバル実施について |
| | | | 町マラソン大会組織委員会開催について |
| | | | いちご一会とちぎ国体那須町実行委員会報告会・総会開催について |
| | | | 第3回公立保育園運営適正化専門部会開催について |
| | 第2回子ども未来応援検討委員会開催について | | |
| 第6回 教育委員会 | 議案第1号 | 教職員の人事異動について | |
| | 議案第2号 | 那須町教育相談室設置規則の新規制定について | |
| | 議案第3号 | 那須町教育委員会個人情報保護条例施行規則の一部改正について | |
| | 議案第4号 | 那須町立小中学校管理規則の一部改正について | |
| | 議案第5号 | 社会教育委員からの答申について | |
| | 報告事項1 | 各種許可・認定状況について | |
| | 教育長報告 | | 小中学校卒業式について |
| | | | 教職員の人事異動について |
| | | | 町文化芸術・スポーツ顕彰表彰式開催について |
| | | | タウンカレッジ終了証書授与について |
| | | 黒田原第一保育園における感染症の発症状況について | |
| | 不妊治療休暇奨励支援事業開始について | | |

5 総合教育会議について

地教行法第1条の3の規定に基づき、地方公共団体の長は、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱(以下「大綱」という。)を定めなければなりません。

大綱の策定に関する協議及び教育条件の整備等重点的に講ずべき施策、児童生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置について、地方公共団体の長は、地方公共団体の長と教育委員会により構成する総合教育会議を設け、協議・調整を行うことになっています。

○令和4年度総合教育会議の開催状況

| 実施年月日 | 協議内容 |
|------------|--|
| 令和4年6月24日 | <p>(出席者)</p> <p>町長部局:町長、総務課長、企画財政課長</p> <p>教育委員会:教育長、教育委員4名、学校教育課長、生涯学習課長、こども未来課長、学校教育課課長補佐、学校教育課指導主事、生涯学習課長補佐、こども未来課長補佐、こども未来課指導主事</p> <p>(場所)那須町役場特別会議室</p> <p>(協議事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会再編による幼保小中連携の強化と接続について ・その他 |
| 令和4年11月16日 | <p>(出席者)</p> <p>町長部局:町長、総務課長、企画財政課長</p> <p>教育委員会:教育長、教育委員3名、学校教育課長、生涯学習課長、こども未来課長、学校教育課課長補佐、学校教育課指導主事</p> <p>(場所)那須町役場特別会議室</p> <p>(協議事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング教育の現状と課題について ・その他 |
| 令和5年2月17日 | <p>(出席者)</p> <p>町長部局:町長、企画財政課長</p> <p>教育委員会:教育長、教育委員4名、学校教育課長、生涯学習課長、こども未来課長、学校教育課長補佐、学校教育課指導主事、生涯学習課長補佐、生涯学習課社会教育指導主事、生涯学習課係長</p> <p>(場所)那須町役場正庁</p> <p>(協議事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の地域移行について <ul style="list-style-type: none"> ア 国・県の方針、施策について イ 県市町の進捗状況について ・その他 |

6 教育委員会の議論の活発化のために

教育委員は、地域の様々な行政課題に迅速かつ的確に対応し、定例会や臨時会、総合教育会議において活発な議論を行い適切な判断ができるよう、教育行政の課題について理解を深めるための施策への勉強会や研修会への参加、学校訪問などを実施しています。

○令和4年度教育委員活動状況

| No. | 期 日 | 場 所 | 内 容 |
|-----|--------|---------------------|-----------------------------|
| 1 | 6月11日 | 文化センター | 長唄舞踊「那須与一の段」 |
| 2 | 6月21日 | 学びの森小 | 計画訪問 |
| 3 | 7月15日 | 田代友愛小 | 計画訪問 |
| 4 | 7月20日 | 那須野が原 日本遺産巡り | 那須地区市町村教育委員会連合会研修視察 |
| 5 | 9月4日 | 幸福の科学学園 中学校・高等学校 | 幸福の科学学園「大鷲祭」視察 |
| 6 | 9月8日 | 書面開催 | 那須地区少年の主張大会 |
| 7 | 9月11日 | スポーツセンター | いちご一会とちぎ国体 デモンストレーション大会 |
| 8 | 10月9日 | スポーツセンター他 | いちご一会とちぎ国体 自転車競技大会 |
| 9 | 10月21日 | 会津美里町 ほっとぴあ新鶴他 | 那須町・会津美里町教育委員会交流会 |
| 10 | 11月7日 | 県庁、 研修館ほか | 栃木県市町村教育委員会連合会 研修会・情報交換会 |
| 11 | 1月8日 | 文化センター | 二十歳の集い |
| 12 | 2月4日 | 文化センター | 那須町プレゼンフェスティバル |
| 13 | 3月11日 | 各中学校 | 那須町立中学校卒業式 |
| 14 | 3月17日 | 各小学校 | 那須町立小学校卒業式 |

Ⅲ 教育ビジョンに基づく点検評価対象事務事業

【こども未来課】

(単位:千円)

| No. | 事業名 | 事業費 | 事業概要 |
|-----|---------------------|---------|---|
| 1 | 子育て支援センター事業 | 704 | 地域子育て支援拠点として、サロン事業等を通して、子どもの健やかな成長を支援するとともに、子育てヘルパー派遣事業の拡充やファミリーサポートセンター事業等の推進を図る。 また、児童虐待を含む要保護児童等の対策に関して、相談業務の他、関係機関との連携を強化し、迅速な対応を行う。(継続) |
| 2 | 子ども子育てのための教育保育等給付事業 | 270,617 | 保育園・幼稚園・認定こども園への施設型給付費の給付、幼稚園の預かり保育、認可外保育施設等の利用料の給付 |
| 3 | 子どもの遊び場運営事業 | 437 | 旧田中小学校に子育て支援スペースとして、小学校3年生までを対象に、屋内で無料で遊べる場を開設した。(継続) |
| 4 | 保育園運営事業 | 719,612 | 公立4保育園の管理運営費、町内外の私立保育園に対する委託料(運営費)の給付 |
| 5 | 放課後児童健全育成事業 | 47,393 | 子育てをしながら働く家庭等を支援するため、また小学校就学児が放課後を安心して過ごさせるよう、放課後児童クラブの管理及び運営補助(公設民営7クラブ8単位、民設民営1クラブ1単位)を行う。(継続) |

Ⅲ 教育ビジョンに基づく点検評価対象事務事業

【学校教育課】

(単位:千円)

| No. | 事業名 | 事業費 | 事業概要 |
|-----|--------------|---------|---|
| 1 | 学校給食調理業務委託事業 | 131,736 | 地域に密着した安全でおいしい学校給食を提供するため自校給食を実施する。 |
| 2 | 学校給食費支援事業 | 10,000 | 給食費段階的無償化事業からのシフト事業として、児童生徒の給食費を助成する。 |
| 3 | 英会話力向上事業 | 2,734 | 「聞く・話す」能力に重点を置いた英語教育を進めるため、中学校全生徒に外国人講師とのオンライン授業を実施する。 |
| 4 | ICT教育推進事業 | 80,676 | GIGAスクール構想の実現に向けた教育環境を整えるため、端末や周辺機器の整備に加え、支援員を配置してICT機器活用能力を育成する。 |
| 5 | スクールバス運行事業 | 182,508 | 安心安全な登下校を確保するため、スクールバスを整備しきめ細かな運行を実施する。 |

Ⅲ 教育ビジョンに基づく点検評価対象事務事業

【生涯学習課】

(単位：千円)

| No. | 事業名 | 事業費 | 事業概要 |
|-----|----------------------------|--------|---|
| 1 | 那須スイミングドーム・余笹川ふれあい公園管理運営事業 | 71,078 | ○那須スイミングドーム（ふれあい公園を含む）管理運営を指定管理者制度（H30～R4:5年間）により行った。 ・指定管理料 49,500千円 ○那須スイミングドーム（平成7年設置。26年経過）設備等について、経年劣化による老朽化が著しく激しいことから、計画的に設備等の改修を進めた。 ・AC-1、AC-2コイル更新工事 9,980千円 ・光熱費超過分負担金 7,669千円 |
| 2 | 家庭教育支援推進事業 | 246 | 0歳から18歳までの18年間を見据えた一貫教育の施策の一つとして、「子どもと大人の豊かな関わり合いのある町」を目標とした子育てに関する講演会をこども未来課、学校教育課、生涯学習課（以下、「3課」という。）の共催で開催する。 |
| 3 | 文化センター自主事業 | 1,446 | 町民、特に新型コロナウイルスの感染拡大により芸術鑑賞機会の失われた児童生徒への文化芸術の振興を図るため、身近な公共ホールで上質な文化芸術鑑賞機会を提供する。 |
| 4 | スポーツ振興事業 | 8,572 | 町民が健康で活気にあふれ、生きがいある生活が送れるよう「町民一人1スポーツ」をスローガンに、子ども～高齢者までのスポーツによるまちづくりを推進する。 |
| 5 | 国民体育大会事業費 | 80,966 | 2022年一期一会とちぎ国体の開催が予定されており、那須町では自転車競技及びデモ競技としてエアロビック競技が開催される予定です。国民体育大会は都道府県対抗で国を挙げての各競技大会となりますので、町としても開催に向けた準備に取り組み、万全の態勢で大会に臨み成功させたい。 |

令和4年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

| | | | | | |
|---------------|---|---|---------|---------|---------|
| 事業名 | 子ども子育てのための教育保育等給付事業 | | | | |
| 担当課 | こども未来課 | | | | |
| 制度区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 補助(国・県) <input type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> その他 | | | | |
| 事業概要 | 目的 | 保育所・幼稚園・認定こども園に対する財政措置 | | | |
| | 取組実績 | ①施設型給付費 認定こども園10園・幼稚園1園 89,377千円 ②施設型給付費 広域委託公立保育園2園 670千円 ③施設型給付費 町内公立4保育園 179,014千円 ④施設等利用給付費 6施設 15,556千円 | | | |
| | 経過年度事業実績 | 平成24年8月に子ども・子育て関連3法が成立し、平成27年4月から子ども子育て支援法により実施している | | | |
| | | 事業費 (単位:千円) | | R2 | R3 |
| | | 決算額 | 559,636 | 472,540 | 270,617 |
| 成果及び課題 | 成果 | 施設型給付は保育園・幼稚園・認定こども園等に運営費を給付することで教育・保育施設の安定的な経営につながった。また、施設等利用給付は子育て家庭への経済的負担の軽減が図れた。 | | | 内部評価 |
| | 課題 | 毎年の制度改正や単価改定のための差額請求作業など、年々複雑化する事務手続きなど業務の負担となっている。 | | | A |
| 点検評価委員からの主な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・施設型給付費は、教育、保育施設の安定的な経営につながる重要な業務である。 ・安定した保育園等の運営に向け、きめ細やかな支援を行う必要がある。複雑化する事務手続きによる職員の負担軽減を図るため、職員の人員増を検討すること。 | | | | 外部評価 |
| | | | | | A |
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止 | | | | |

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和4年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

| | | | | | |
|-------------------|---|---|-----|-----------|-----------|
| 事業名 | 子どもの遊び場運営事業 | | | | |
| 担当課 | こども未来課 子育て支援センター | | | | |
| 制度区分 | <input type="checkbox"/> 補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> その他 | | | | |
| 事業概要 | 目的 | こどもの遊び場として「わんぱくキッズランド」を運営し、子供の健全育成ができる環境を提供する。(継続) | | | |
| | 取組実績 | 天候に左右されず、無料で屋内で遊べる場として町内外から多数来場している。 | | | |
| | 経過年度 事業実績 | R2キッズランドの利用者数 延1,819人(コロナ感染対策の為休館時期有) R3キッズランドの利用者数 延3,649人(コロナ感染対策の為休館時期有) R4キッズランドの利用者数 延6,102人 | | | |
| | | 事業費 (単位:千円) | 決算額 | R2 742 | R3 520 |
| 成果及び課題 | 成果 | 各月でイベントを開催し、リピーターも増えている。特に雨天時には利用者が多く、またスノーズレンの利用についても、発達に問題を抱える児童が定期的に利用している。子どもの遊び場を提供するという目的は達成している。 | | | 内部評価 |
| | 課題 | 少子化により、町内利用者数が減っている。今後利用者が減少することも想定されるが、施設の運営には人件費や維持管理費用がかかるため、運営方法の見直しを検討する必要がある。 | | | A |
| 点検評価委員 からの主な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・天候に左右されない子どもの遊び場として、多くの方が利用しており、大変良い施設である。町内外からの利用者も多く、人口交流にもつながるため、PRを積極的に行うこと。 ・利用者は子育て中で忙しい世代である。予約方法の改善に向けて検討すること。 ・体験活動は、子どもの心と体の成長を促すものであるため、各地区にも子どもの遊び場の設置が望ましい。 | | | 外部評価 | |
| | | | | A | |
| 今後の方向性 | <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止 | | | | |

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和4年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

| | | | | | |
|---------------|---|---|---------|---------|------|
| 事業名 | 保育園運営事業 | | | | |
| 担当課 | こども未来課 | | | | |
| 制度区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 補助(国・県) <input type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> その他 | | | | |
| 事業概要 | 目的 | 公立4保育園の運営、3園の給食調理業務委託、町内外の私立保育所入所委託、公立保育園の登降園システムの運用、私立保育所への補助金交付 | | | |
| | 取組実績 | <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度から公立保育園の完全給食を実施し保護者の負担軽減を図った。 補助金の投入により私立保育所でのICT化も完了し町内6保育園において登降園システムを導入済。 私立保育園への運営費の給付と運営費補助を行った。 | | | |
| | 経過年度事業実績 | <ul style="list-style-type: none"> 保育園数 R2年度公立7園/R3年度公立6園/私立1園/R4年度公立4園/私立2園 給食調理業務委託 H31.4-R4.3(黒田原第2)・R3.4-R6.3(黒田原第1・伊王野) 登降園システム R3年度導入費4,147千円 R4年度運用費1,485千円 私立保育所運営費 令和3年度実績1,453千円(那須高原)/令和4年度実績9,802千円(那須高原・なすのそら) | | | |
| | 事業費 (単位:千円) | 決算額 | R2 | R3 | R4 |
| | | 685,428 | 919,281 | 719,612 | |
| 成果及び課題 | 成果 | 登降園システムについては、公立4園に令和4年1月に導入し試行的に運用を開始、令和4年4月から本格運用を行った。特にコロナ禍においては一斉連絡機能を活用した保護者連絡や登降園時間のデータ管理など保育士の業務負担軽減にもつながった。また、令和3年度に引き続き、令和4年度2か所目の私立保育所が開所しICT化等の運営費補助金を投入することにより安定した保育所運営につながった。 | | | 内部評価 |
| | 課題 | 児童数の減少により町内の教育・保育施設での定員割れが発生している。また、保育士不足により保育士の確保も課題となっている。 | | | A |
| 点検評価委員からの主な意見 | <ul style="list-style-type: none"> 登降園システムの導入は、保護者にとって非常に使い勝手が良いものである。保護者、保育士等の負担軽減のためにも、積極的にICT化の導入を進めること。 公立保育園の完全給食の実施は、保護者にとっても有難い取り組みである。 仕事と子育ての両立のために、0歳児の受入れは非常に有難い。 公立保育園と私立保育園等の連携強化について、今後も継続して取り組むこと。 公私に関わらず、特色ある保育園の運営を推進すること。 | | | 外部評価 | |
| | | | | A | |
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止 | | | | |

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和4年度那須町教育委員会事務事業点検評価調査

| | | | | | |
|---------------|---|---|--------|--------|------|
| 事業名 | 放課後児童健全育成事業 | | | | |
| 担当課 | こども未来課 | | | | |
| 制度区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 補助(国・県) <input type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> その他 | | | | |
| 事業概要 | 目的 | 子育てをしながら働く家庭等を支援するため、また小学校就学児が放課後を安心して過ごさせるよう、放課後児童クラブの管理及び運営補助(公設民営7クラブ8単位、民設民営1クラブ1単位)を行う。(継続) | | | |
| | 取組実績 | 年度当初の予定どおり、公設民営7クラブ8単位(運営委託)、民設民営1クラブ1単位の管理及び運営補助として公費負担分の支出を行った。利用児童数は公設民営305人、民設民営30人となっている。また、感染対策(消毒・石鹸等)配布や施設の修繕等を行った。 | | | |
| | 経過年度事業実績 | R2 実施団体:公設民営7クラブ8単位(運営委託)、民設民営1クラブ1単位 利用児童数:公設民営293人・民設民営23人 R3 実施団体:公設民営7クラブ8単位(運営委託)、民設民営1クラブ1単位 利用児童数:公設民営333人・民設民営30人 R4 実施団体:公設民営7クラブ8単位(運営委託)、民設民営1クラブ1単位 利用児童数:公設民営324人・民設民営20人 | | | |
| | | 事業費(単位:千円) | | R2 | R3 |
| | 決算額 | 47,485 | 41,068 | 47,393 | |
| 成果及び課題 | 成果 | 保護者が労働等により昼間家庭にいないもの等のクラブを利用する条件を満たした児童のほかに、本来は利用対象とならない(停留所が家から遠い等の理由で)部活動後の児童を預かるなど、適正な放課後児童クラブの管理及び運営補助、必要なクラブ数の確保ができた。 | | | 内部評価 |
| | 課題 | 全国的な例に漏れず、那須町においても子どもの数が減っている状況であり、施設の拡大等が難しい中で、各クラブに対する安定した職員の確保支援をどのようにしていくかが課題となる。また、現状児童は放課後の過ごし方について、放課後児童クラブや部活しか選択肢がない状況でもあるので、第3の居場所についても、学校や地域を含めて検討していく必要がある。 | | | A |
| 点検評価委員からの主な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・働いている親の支援としては必要なものであり、年々増加傾向にある。 ・利用者が増加していることから、放課後児童クラブ指導員の確保支援について検討すること。 ・学校と放課後児童クラブの連携強化について検討すること。 ・放課後児童クラブでの外遊びを積極的に取り入れること。 ・第3の子どもの居場所について、学校や地域を含めて検討すること。 ・運営に伴う事務手続きなどにより保護者の負担が増えている。忙しい保護者の負担軽減を図ること。 | | | 外部評価 | |
| | | | | B | |
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止 | | | | |

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和4年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

| | | | | | |
|-------------------|---|---|---------|---------|------|
| 事業名 | 学校給食調理業務委託事業 | | | | |
| 担当課 | 学校教育課学校教育係 | | | | |
| 制度区分 | <input type="checkbox"/> 補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> その他 | | | | |
| 事業概要 | 目的 | 地域の伝統的な食文化や、食に関わる人々への感謝、食料の生産・流通・消費などを学び、児童生徒が健康で健全な食生活を営むことができるよう、安全で安心な学校給食を提供する。(継続) | | | |
| | 取組実績 | 給食調理業務を2社へ委託し、安全・安心な給食を安定的に提供した。 ・那須中央中学校区(那須中央中、東陽・学びの森・黒田原小) 委託料72,336,000円 ・那須中学校区(那須中、高久・田代友愛・那須高原小) 委託料59,400,000円 | | | |
| | 経過年度 事業実績 | R2 小学校6校86,988,000円、中学校2校33,792,000円 R3 小学校6校86,988,000円、中学校2校33,792,000円 R4 小学校6校92,332,000円、中学校2校39,404,000円 | | | |
| | | 事業費 (単位:千円) | | R2 | R3 |
| | 決算額 | 120,780 | 120,780 | 131,736 | |
| 成果及び課題 | 成果 | 自校給食により地域に密着した安全でおいしい学校給食を継続できる体制を整えることができた。 | | | 内部評価 |
| | 課題 | 施設の老朽化による修繕が増加している。 安全でおいしい給食を提供するために調理機材のメンテナンスや計画的な更新を行う必要がある。 | | | A |
| 点検評価委員 からの主な意見 | ・自校給食は、町の特色ある子育て支援策としても魅力的で良い事業である。 町外の学校と比較しても、温かいものは温かく、冷たいものは冷たい状態で提供されており、とても美味しい。子どもたちにとっても、給食は楽しみであるため、財政状況が厳しい中ではあるが、自校給食は継続して欲しい。 ・保護者や子どもたちへ自校給食についてアンケートなどを実施、自校給食の継続に向けた取組を行うこと。 | | | | 外部評価 |
| | | | | | A |
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止 | | | | |

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和4年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

| | | | | | |
|-------------------|---|--|-----|-------------|--------------|
| 事業名 | 学校給食支援事業 | | | | |
| 担当課 | 学校教育課学校教育係 | | | | |
| 制度区分 | <input type="checkbox"/> 補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> その他 | | | | |
| 事業概要 | 目的 | 給食費段階的無償化事業からのシフト事業。 給食費支援として児童生徒の給食費を助成する。(継続) | | | |
| | 取組実績 | 1食30円を給食支援として助成を行い、児童生徒一人あたり5,970円を助成した。 | | | |
| | 経過年度 事業実績 | R1 小学校875袋、中学校661袋 R2 小学校875袋、中学校698袋 R3 小学校6校6,300,000円、中学校2校3,700,000円 R4 一人あたりの助成額5,970円(1食30円×199日) | | | |
| | | 事業費 (単位:千円) | 決算額 | R2 5,154 | R3 10,000 |
| 成果及び課題 | 成果 | 給食費の一部を助成することで、保護者の経済的な負担軽減を図ることができた。 | | | 内部評価 |
| | 課題 | 全無償化は約8,000万円の費用がかかることから、財源確保が困難な状況である。 無償化に向けた国の方針を見極めながら拡充等、検討する必要がある。 | | | A |
| 点検評価委員 からの主な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者にとって、給食支援は非常に有難いことであるが、町が支援していることについて保護者が理解しているか疑問である。良い取り組みであるため、積極的にPRに努めること。 ・町の魅力ある子育て支援策として継続して欲しい。 | | | | 外部評価 |
| | | | | | A |
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止 | | | | |

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和4年度那須町教育委員会事務事業点検評価調査書

| | | | | | |
|-------------------|---|--|-----|-------------|-------------|
| 事業名 | 英会話力向上事業 | | | | |
| 担当課 | 学校教育課学校教育係 | | | | |
| 制度区分 | <input type="checkbox"/> 補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> その他 | | | | |
| 事業概要 | 目的 | 「聞く・話す」能力に重点を置いた英語教育を進めるため、中学校全生徒を対象に、1レッスン25分、2～3名を1グループとしたグループレッスンを実施する。 (継続) | | | |
| | 取組実績 | 中学校において1グループ年7回のレッスン、英検IBAの受検を年1回実施した。 英検IBA:英語検定のプレテストとして位置付けられる団体受検専用試験で、短時間・低価格で受検できる。日常的な英語力の測定、学習結果の確認、目標設定に活用されている。 | | | |
| | 経過年度 事業実績 | H30 レッスン年8回、英検IBA年2回 R1 レッスン年8回、英検IBA年2回 R2 レッスン年8回、英検IBA年2回 R3 レッスン年7回、英検IBA年1回 R4 レッスン年7回、英検IBA年1回 | | | |
| | | 事業費 (単位:千円) | 決算額 | R2 2,893 | R3 2,730 |
| 成果及び課題 | 成果 | ネイティブ英語に触れる機会を持ち、英会話力を向上させることができた。 教職員からも英会話力の向上に寄与しているとの評価が得られている。 | | | 内部評価 |
| | 課題 | 学校行事との調整がつかず令和3年度からレッスン回数を7回に減らし、英検IBAも1回に減らした。令和4年度も同様としたが、今後の受講の方針を検討する必要がある。 | | | A |
| 点検評価委員 からの主な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・この事業が、英会話力の向上につながっているかについて調査検討する必要がある。 ・次代を担う子どもたちのためには、英会話力の向上は必要であるため、目に見える成果が確認できる取組について検討すること。 ・他事業との連携した事業内容を検討すること。 | | | | 外部評価 |
| | | | | | B |
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止 | | | | |

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和4年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

| | | | | | |
|---------------|---|---|-----|---------------|--------------|
| 事業名 | ICT教育推進事業 | | | | |
| 担当課 | 学校教育課学校教育係 | | | | |
| 制度区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 補助(国・県) <input type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> その他 | | | | |
| 事業概要 | 目的 | 児童生徒1人に1台タブレット端末を整備するとともに、ICT支援員の派遣、校内ネットワーク保守管理等を行う。プログラミング教育推進スーパーバイザーを引き続き雇用し、小学校で本格実施されたプログラミング教育を推進する。人工知能型学習ソフト等の導入により、ICT教育環境の整備と教員の負担軽減を図る。(継続) | | | |
| | 取組実績 | プログラミング教育推進スーパーバイザーを1人、ICT授業総合支援員を1人雇用し、ICT支援員と連携しながら学校のICT教育支援を行った。また、オンライン学習ソフトや教育コンテンツ配信サービスを利用してタブレットを十分に活用できる環境を継続した。 | | | |
| | 経過年度事業実績 | R2 iPad導入991台、Macbook1台導入 LTE通信料、電子黒板リース料、情報教育用PCリース料等 R3 タブレット端末用キーボード450台(小学校) LTE通信料、電子黒板リース料、情報教育用PCリース料等 R4 LTE通信料、電子黒板リース料、情報教育用PCリース料等 電子黒板8台導入 | | | |
| | | 事業費 (単位:千円) | 決算額 | R2 158,507 | R3 86,646 |
| 成果及び課題 | 成果 | 前年度に引き続き、ICTの専門知識を有する人材を雇用することにより、教職員のICT活用能力の向上のための授業支援やサポート体制を強化することができた。オンライン学習ソフトやデジタル教科書、電子黒板を活用したことにより児童生徒の学習意欲向上や教職員の指導の効率化を図ることができた。 | | | 内部評価 |
| | 課題 | 端末導入から3年を経過し、タブレットの故障が年々増えてきているため、修繕費用の予算額を増やす必要がある。 | | | A |
| 点検評価委員からの主な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・本町のタブレットはLTE端末であり、校外学習にも活用でき、子どもたちの学びにとって、とても有効である。 ・ICT教育の推進には、教職員への支援を強化する必要がある。 ・保育園で導入している登降園システムを参考にして、子どもの安全と保護者と教職員の負担軽減につながるシステムの導入を早急に検討すること。 | | | | 外部評価 |
| | | | | | A |
| 今後の方向性 | <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止 | | | | |

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和4年度那須町教育委員会事務事業点検評価調査書

| | | | | | |
|---------------|---|--|---------|---------|------|
| 事業名 | スクールバス運行事業 | | | | |
| 担当課 | 学校教育課学校教育係 | | | | |
| 制度区分 | <input type="checkbox"/> 補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> その他 | | | | |
| 事業概要 | 目的 | 小中学校の適正配置に合わせスクールバス(小学校14台、中学校10台、予備車2台、合計26台)を運行し、保護者の負担を軽減する。また車両更新を計画的に行い、児童生徒の通学の安全を確保する。(継続) | | | |
| | 取組実績 | 東陽小6台、学びの森小2台、田代友愛小2台、那須高原小2台、黒田原小2台、那須中4台、那須中央中6台、予備車2台、計26台の運行管理を行った。 小学校14台/14路線 中学校12台/10路線 車両更新:新車購入1台(廃車1台) | | | |
| | 経過年度事業実績 | H30 小学校12台、中学校9台、予備車1台 計22台 R1 小学校14台(+2)、中学校9台、予備車1台 計24台 R2 小学校14台、中学校10台(+1)、予備車2台(+1) 計26台 R3 小学校14台、中学校10台(±1)、予備車2台 計26台 R4 小学校14台(±1)、中学校10台、予備車2台 計26台 | | | |
| | 事業費 (単位:千円) | | R2 | R3 | R4 |
| | 決算額 | 177,250 | 182,858 | 182,508 | |
| 成果及び課題 | 成果 | 児童332人、生徒207人が利用し、児童生徒が安心して通学できる環境を整えることができた。 休日の部活便などの利用者の把握については、事前予約ができるシステムを構築したことで無駄な運行を防ぎ、経費節減に繋げることができた。 | | | 内部評価 |
| | 課題 | 車両の老朽化により修繕費用が増大しているため、計画的な車両の入替えが必要である。 運行委託料も多額な費用となっているため、運行経路の見直し等について、地域住民の理解を図りながら進める必要がある。 | | | A |
| 点検評価委員からの主な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校の統廃合に伴い、子どもたちの安心安全な登校にはスクールバスの運行は必要である。運行経路の見直しや車両の計画的な入替えにより継続すること。 ・安心安全な登下校を確保している。 | | | | 外部評価 |
| | | | | | A |
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止 | | | | |

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和4年度那須町教育委員会事務事業点検評価調査

| | | | | | |
|---------------|---|--|-----|--------------|--------------|
| 事業名 | 那須スイミングドーム・余笹川ふれあい公園管理運営事業 | | | | |
| 担当課 | 生涯学習課施設管理係 | | | | |
| 制度区分 | <input type="checkbox"/> 補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> その他 | | | | |
| 事業概要 | 目的 | 那須スイミングドーム及び余笹川ふれあい公園の管理運営を指定管理者制度(H30~R4:5年間)により行う。 | | | |
| | 取組実績 | 令和4年度のスイミングドーム利用者は40,501人(前年度比4,902人増)となったが、コロナ禍前(平成30年度:45,339人)の利用者数からは約5千人少ない状況である。余笹川ふれあい公園の利用者は25,688人(前年度比13,110人増)となり、那須高原ロングライド等のイベント開催が徐々にできるようになった。 | | | |
| | 経過年度事業実績 | ○スイミングドーム ○余笹川ふれあい公園 利用者 H30 45,339人 H30 25,633人(九尾まつり中止) R1 43,602人 R1 76,721人 R2 30,136人 R2 11,347人(九尾まつり中止) R3 35,599人 R3 12,578人(九尾まつり中止) R4 40,501人 R4 25,688人(九尾まつり中止) 指定管理料:年額45,000千円(税抜) 光熱費超過分町負担金 7,669千円 北側公衆トイレ屋根防水改修工事 1,100千円 ※屋根の葺き替え 公園内時計更新 418千円 | | | |
| | | 事業費 (単位:千円) | 決算額 | R2 52,540 | R3 55,106 |
| 成果及び課題 | 成果 | 指定管理者(環境整備株式会社)において、協定書及び仕様書等に基づき、利用者の安全第一を最優先とした管理運営業務がなされている。また、プール及び公園の施設の老朽化に伴う修繕、改修(軽微な物は指定管理者で対応)については、町において適宜、実施している。 | | | 内部評価 |
| | 課題 | 当施設は、平成8年開設以来26年が経過していることから施設の老朽化が進み、特に機械設備の段階的な修繕等を実施していく必要がある。今後も原油価格の高騰による光熱費等の経費の増加が懸念される。また、公園の施設についても同様に計画的な施設の改修に努めなければならない、一方、公園遊具の整備要望があることから、整備に向けた検討を進める必要がある。 | | | A |
| 点検評価委員からの主な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・水泳教室の利用者が増加傾向にある。子どもの活動の場としてもスイミングドームは必要であるため、計画的に改修等を実施し維持管理に努めること。 ・スイミングドームは開設以来26年が経過しており、施設の老朽化が進み今後、大規模改修が必要になると考えられる。学校プール施設も老朽化しており、大規模改修や更新の時期を迎えつつある。スイミングドームの大規模改修については、学校プール施設の今後のあり方とも合わせて検討をすること。 | | | | 外部評価 |
| | | | | | A |
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止 | | | | |

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和4年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

| | | | | | |
|---------------|---|---|---|-----|------|
| 事業名 | 家庭教育支援推進事業 | | | | |
| 担当課 | 生涯学習課 生涯学習係 | | | | |
| 制度区分 | <input type="checkbox"/> 補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> その他 | | | | |
| 事業概要 | 目的 | 0歳から18歳までの18年間を見据えた一貫教育の施策の一つとして、「子どもと大人の豊かな関わり合いのある町」を目標とした子育てに関する講演会をこども未来課、学校教育課、生涯学習課(以下、「3課」という。)の共催で開催する。 | | | |
| | 取組実績 | R4年度は、高濱正伸氏の「子どもは外で育つ～どんな時代でも生き抜く～」の講演をコロナ禍のため、YouTube動画で期間を設定しR4.6.23～7.13まで配信した。 配信対象者は、那須町の小学校、中学校、高校に通学している子どもの家庭、教職員及び保育園、幼稚園に通っている子どもの家庭、教職員としているが、教育事務所も含めてチラシを配布しているので、町外の方も視聴は可能となっている。 | | | |
| | 経過年度事業実績 | R3年度から、高濱正伸氏の「母親だからできること～子育ての落とし穴～」の講演会を開催する予定であったが、コロナ禍のためYouTube動画を期間を設定し12.3～12.31まで配信した。 | | | |
| | | 事業費 (単位:千円) | | R2 | R3 |
| | | 決算額 | 0 | 127 | 246 |
| 成果及び課題 | 成果 | 「子どもと大人の豊かな関わり合いのある町」の目標のもと、大人がこれまでの子どもとの関わりを振り返り、より良い関係を築くためのスキルを身に付けるヒントを得るための機会となっている。 | | | 内部評価 |
| | 課題 | 複雑な家庭環境、支援が必要な家庭等、家庭を取り巻く課題は山積みとなっている。 | | | A |
| 点検評価委員からの主な意見 | ・子どもと大人のより良い関係を築くためのスキルを身に付けるヒントを得るための良い機会であることから、より多くの方に聴いてもらえるよう積極的なPRが必要である。 ・親学習プログラムなどの活用により家庭教育支援の充実を図ること。 | | | | 外部評価 |
| | | | | | A |
| 今後の方向性 | <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止 | | | | |

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和4年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

| | | | | | |
|---------------|---|--|-----|---------|---------|
| 事業名 | 文化センター自主事業 | | | | |
| 担当課 | 生涯学習課 文化振興係 | | | | |
| 制度区分 | <input type="checkbox"/> 補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> その他 | | | | |
| 事業概要 | 目的 | 町民、特に新型コロナウイルスの感染拡大により芸術鑑賞機会の失われた児童生徒への文化芸術の振興を図るため、身近な公共ホールで上質な文化芸術鑑賞機会を提供する。 | | | |
| | 取組実績 | 中学生鑑賞事業として平家物語那須与一の段(長唄舞踊劇)を実施。中学生約400名が鑑賞。 文化センター自主事業として、ときめくひととき公演(木琴コンサート)を実施。310名が鑑賞。 | | | |
| | 経過年度事業実績 | コロナウイルスの影響により実施できていなかったため、久しぶりの開催となった。 | | | |
| | | 事業費 (単位:千円) | 決算額 | R2 0 | R3 0 |
| 成果及び課題 | 成果 | 自主事業は3年ぶりの開催となったが、長唄舞踊劇によって児童生徒への伝統的な文化芸術の振興、木琴コンサートの実施によって、質の高い音楽などの文化芸術を提供することが出来た。事業実施後のアンケートでは回答いただいた方、約9割の方が満足したと回答。今後も満足度の高い事業を展開していきたい。 | | | 内部評価 |
| | 課題 | 自主事業の課題は集客の難しさがあげられ、できるだけ多くの町民のみなさんに文化芸術に触れていただくため、文化芸術鑑賞をするという文化を根付かせることが重要かと思われる。 | | | A |
| 点検評価委員からの主な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・町民に質の高い文化芸術に触れる機会を提供するために、専門的な知識を持つ事業者に運営を任せて町民が興味を持つような催し物を検討すること。 ・町民の文化意識の向上のため、幅広い年齢層向けの事業の実施を検討すること。 | | | 外部評価 | |
| | | | | A | |
| 今後の方向性 | <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止 | | | | |

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和4年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

| | | | | | |
|---------------|---|--|-------|-------|------|
| 事業名 | スポーツ振興事業 | | | | |
| 担当課 | 生涯学習課スポーツ振興係 | | | | |
| 制度区分 | <input type="checkbox"/> 補助(国・県) <input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> その他 | | | | |
| 事業概要 | 目的 | 町民が健康で活気にあふれ、生きがいある生活が送れるよう「町民一人1スポーツ」をスローガンに、子どもから高齢者までのスポーツによるまちづくりを推進する。 ・駅伝大会等開催 ・全国大会等出場選手激励 ・町スポーツ協会補助 等 | | | |
| | 取組実績 | 令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、予定どおり事業を行うことができた。町駅伝大会についても3年ぶりに実施することができた。 全国大会等出場選手激励については、各種大会が再開された影響もあり、前年比28件増の延べ59件の出場者に対し奨励費の交付を行った。 【実施事業】ニュースポーツ出前教室:18回355人、体力測定:1回16人、町民ゴルフ大会(春):170人、町民ゴルフ大会(秋):181人、ジュニアゴルフ大会:160人、町レクリエーション大会:66人、町駅伝大会:301人 | | | |
| | 経過年度事業実績 | ○ニュースポーツ出前教室(R2-7回124人、R3-7回134人、R4-18回355人) ○体力測定(R2-2回17人、R3-2回34人、R4-1回16人) ○町駅伝大会(R2-中止、R3-中止、R4-301名) ○町民ゴルフ大会(R2-1回140人、R3-2回287人、R4-2回351人) ○ジュニアゴルフ大会(R2-中止、R3-148人、R4-160人) ○町レクリエーション大会(R2-81人、R3-67人、R4-66人) ○全国大会等出場選手激励(R2-17件、R3-31件、R4-59件) | | | |
| | 事業費 (単位:千円) | | R2 | R3 | R4 |
| | 決算額 | 7,007 | 5,907 | 8,572 | |
| 成果及び課題 | 成果 | 各種大会等は幅広い年代に対し、スポーツに触れる場の提供ができた。また、3年ぶりの開催となった町駅伝大会では、例年とは異なるスケジュールでの実施となり、様々な工夫・調整が必要であったが、関係者の協力により、多くの参加者のもと実施することができた。 町スポーツ協会事業については、各専門部への運営費補助を行うことで継続的な団体育成を図ることができた。 | | | 内部評価 |
| | 課題 | ゴルフ大会等の各種事業の参加人数について、一定水準を保っているが、固定の参加者も一定数おり、今後は参加者数の減に転じる可能性もあることから、スポーツ人口を確保するためにも広報周知の方法を工夫していく必要がある。 | | | A |
| 点検評価委員からの主な意見 | ・「町民一人1スポーツ」を推進しスポーツ人口を増加させるために、広報周知の方法を工夫することやより多くの町民が参加できる事業を検討すること。 ・町スポーツ協会事業については、各専門部の継続的な団体育成支援の拡大を図ること。 | | | 外部評価 | |
| | | | | A | |
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止 | | | | |

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和4年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

| | | | | | |
|---------------|---|---|-------|--------|--------|
| 事業名 | 国民体育大会事業費 | | | | |
| 担当課 | 生涯学習課国体推進室(スポーツ振興係) | | | | |
| 制度区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 補助(国・県) <input type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> その他 | | | | |
| 事業概要 | 目的 | いちご一会とちぎ国体の開催にあたり、【正式競技】自転車ロードレース及び【デモンストレーションスポーツ】エアロビックの準備・開催を行う。 また、42年ぶりとなる栃木県での国体開催、那須町では初の競技開催に向け、町民運動や啓発活動を行い機運醸成を図る。 | | | |
| | 取組実績 | 当町では、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、自転車ロードレース(正式競技)及びエアロビック(デモンストレーションスポーツ)を実施した。また、42年ぶりとなる栃木県での国体開催、那須町では初の競技開催にあたり、様々な町民運動や啓発活動を行い、機運醸成を図った。 【実施事業】PRイベント:22回、炬火イベント:5件1,175人、学校ビューイング8校291人、クリーンアップ運動2回633人、その他PRグッズの制作、手作り応援のぼり旗の制作、各種歓迎装飾の実施、花いっぱい運動の実施等 | | | |
| | 経過年度事業実績 | 【正式競技】自転車ロードレース 期日:令和4年10月9日 来場者数:選手・監督578名、大会関係者955名、観覧者8,506名 【デモンストレーションスポーツ】エアロビック 期日:令和4年9月11日 来場者数:選手・監督117名、大会関係者71名、観覧者300名 【中止事業】リハーサル大会(令和3年9月5日実施予定) | | | |
| | | 事業費 (単位:千円) | | R2 | R3 |
| | | 決算額 | 7,030 | 14,002 | 80,966 |
| 成果及び課題 | 成果 | 9/11のデモンストレーションスポーツ「エアロビック」、10/9の自転車競技(ロードレース)に延べ10,527人の来場者とともに、10/1~10/11までの町内宿泊者は5,009人となり、全国各地から選手や監督、大会関係者を迎え、各競技及びおもてなしを実施することができた。 | | | 内部評価 |
| | 課題 | いちご一会とちぎ国体を契機として創り出されたレガシーを継承・活用していく必要がある。 | | | A |
| 点検評価委員からの主な意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・いちご一会とちぎ国体を契機として創り出されたレガシーを継承・活用することについて検討すること。 ・サイクリングを活用し観光客の誘致や関係人口、交流人口の増加に向けた取り組みを検討すること。 | | | | 外部評価 |
| | | | | | A |
| 今後の方向性 | <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止 | | | | |

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

